

# 日本政治学会 会報

## The JPSA News

NO. 28

DEC. 1994

### ご 挨拶

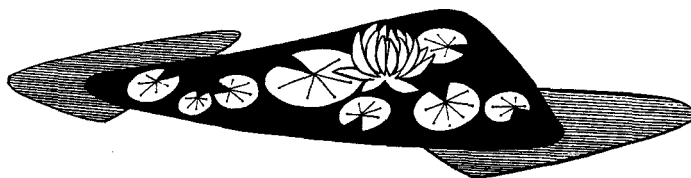
理事長 村松 岐夫

日本の政治学のプレゼンス（存在感）は、いたるところで感じられる。インターディシプリナリーといわれること久しいが、歴史学、経済学、社会学、心理学など政治学の周辺との交渉は増え、他の学科への浸透もはたしている。しかし、もっと顕著なことかもしれないのは、政治学の中のサブ・ユニットの発展である。これは政治学において遠心力が働いていることを意味するのであろうか。

このことは、たとえば、過去の研究会のテーマを検討し学会の名簿を読むときに感じられる。政治学会の分科会における報告者・討論者・司会者を見ると相互に専門とする領域の近い人が多い。趨勢は、近い人を呼び集め一層の専門化を極めようとしているのである。会員についてみると、日本国際政治学会や、日本行政学会、日本選挙学会等に所属するが、政治学会に所属しない人が意外に多い。これは政治学は政治学会を母体にしながらも発展をとげ、今日では、個別に専門化したところで研究活動と組織を成立させていると解釈できるのだろうか。こうしたことは遠心力現象というよりも、政治学の再編成（realignment）なのであろうか。

最近の理事長新任の挨拶のキーワードの一つが国際化である。私もこれを強調したい。IPSAラウンドテーブルや各種国際学会・研究会の経験から、日本は国際的に孤立しているとまで言わないとしても、さらなる関係の強化を必要としているように思われる。政治学の研鑽の場あるいは貢献の場は、国際レベルの政治学になってきているようである。従来よりも、他の国の学者と共通の「問い」に解答を与えようとする姿勢をもつことが期待されているように思われる。世界政治学会（IPSA）、アメリカ政治学会（APSA）、ヨーロッパ政治研究機関連合（ECPR）だけでなく、さらに交流圏を広げる可能性を検討したい。

学会の運営についても各委員会において種々の創意工夫が試みられている。年報委員会は前理事会が努力されて公募制を導入した。また文献委員会の新しい試みが行われている。企画委員会については、この数年間に分科会の提案制やペーパーの事前準備と会場配布の努力が払われた。今後も、困難な点を克服し無理を修正しながら積極的な方向で改善していければ幸いである。皆様のご協力をお願いして私の挨拶に代えさせていただきたい。



『1996年度 年報政治学』掲載論文公募について

96年度年報委員長 佐々木 毅

96年度年報は、94年度以来の編集方針を継承し、下記の2つの中特集テーマについて以下の要領にしたがい論文の公募をおこないます。

- 1) 96年度の中特集テーマ
  - I. 五五年体制の崩壊
  - II. 民主政論の新展開
- 2) 中特集Iについては、従来と同様に年報委員会を中心に研究会が組織され、その成果を、およそ5本の論文として年報に掲載する。
- 3) 公募採用となる論文数は、中特集テーマIについては2または3、中特集テーマIIについては5または4である。
- 4) 中特集Iについては政界分析以外のものを期待している。また、中特集IIについては、理論と現状分析双方を想定している。
- 5) 公募論文については、年報委員会の下に設置される審査委員会で審査し、採用の可否を決めることになるので、以下の要領による。

①95年3月31日までに、同封の申込用紙を用いて応募登録をする。

②公募論文の提出締切日は、95年12月1日（厳守）とする。

③論文は、400字詰原稿用紙で註・図表も含めて60枚以内、ワープロ・プリントの場合には、1行30字もしくは1頁30行の書式設定にすること。なお、コピーを3部提出すること。

④公募論文については、技術的問題も含めて、審査委員会から執筆者に手直しを求めることがある。

⑤応募申込用紙および提出論文の送り先：

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学法学部研究室

佐々木 毅

TEL 03-3812-2111 EX. 3242

FAX 03-3816-7375

1995年度 研究会企画に関する提案・意見の受付について

95年度企画委員長 加茂 利男

95年度研究会（於・法政大学）については、会員の皆様から分科会企画の提案および企画全般についての意見・要望をお寄せいただき、プログラム策定の参考にさせていただきたいと思っております。提案・意見は下記の要領でお寄せ下さい。

記

1. 分科会企画の提案：

テーマおよび、予定報告者・司会者・討論者のお名前、提案者の所属・お名前・連絡先等を記載した提案を御郵送下さい。報告者等への依頼、事前の打ち合せ、当日の運営などに、提案者がコンビーナーとして責任をもっていただけることを条件とします。

ただし、提案が多数のばあい、特定の分野やテーマに重なったばあいなど

を考慮して、提案の採否は企画委員会で決定させていただきます。

2. 企画全般についての意見・要望：

セッションのテーマ、報告、運営方法などでご意見・ご希望があれば、その旨を記載したメモを御郵送下さい。

3. 形式等：必要事項が記載されていれば、書式等は自由にお書き下さい。封書のばあい、封筒の表面に「研究会企画・提案／意見」などのように、朱書しておいていただけると幸いです。

4. あて先：〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学法学部

加茂利男研究室

TEL. 06-605-2336

5. 締 切：1995年1月31日

1994年度 第1回理事会記録

日時 1994年6月11日(土)午後1時30分～2時30分  
場所 京大会館

1994年度第1回理事会は、以下の事項が報告・協議された。

〔報告事項〕

1. 三谷理事長より、藤原保信理事が6月5日に逝去されたことが報告され、藤原理事の日本政治学会への多大の貢献に対し、感謝と哀悼の意が表明された。
2. IP S Aラウンドテーブルの件  
理事長、村松国際交流委員長、蒲島IP S A関係小委員長より、世界政治学会(IP S A)のラウンドテーブルが予定通り、3月25日から27日にかけて京都で開催され、成功のうちに無事終了したことが報告され、関係各方面に対する謝意が述べられた。また、理事長より、本学会の国際交流基金からラウンドテーブル資金委員会に貸し出されていた100万円の準備資金が返却されたことが、報告された。さらに、渡辺常務理事より、資金委員会委員である欠席の佐々木理事からの、ラウンドテーブルの資金・支出計画が各方面の協力によりほぼ予定通り実行された旨のメモが代読された。
3. 日本学術会議会員選出の件  
理事長より、5月12日に日本学術会議で開催された政治学研究連絡委員会の推薦人会議に関して、報告があった。
4. IP S Aカウンシルへの代表派遣の件  
理事長より、8月にベルリンで開催されるIP S A世界大会に際して新執行委員選出のために開かれるカウンシルに、村松国際交流委員長、佐々木理事(現執行委員)、蒲島IP S A関係小委員長の3名が派遣されることが、報告された。
5. 本学会の会員数の件  
理事長より、本学会規約第8条に基き、19名の会員を、2年度分会費滞納のために1993年度末に退会したものと見なすことになったこと、その結果、6月11日現在で会員数が1239名となったことが、報告された。
6. 1994年度総会・研究会の件  
本田企画委員長より、10月1日(土)・2日(日)に関西大学で開催される研究会プログラムの最終案が紹介され、常務理事より、総会・理事会を含む全日程案が説明され、それぞれ承認された。また、土倉学会開催校担当理事より、準備の進行状況について、報告された。
7. 各委員会関係
  - (1) 年報委員会  
田中94年度年報委員長より、準備が順調に進められている旨の報告がなされた。また、常務理事より、欠席の西尾95年度年報委員長からの、次のような内容のメモが代読された。即ち、95年度年報委員会から申請していた科学研究費補助金が94年度650万円、95年度360万円の交付決定の内示をうけた。特集テーマ1「現代日本の政官関係の形成」については、論文公募への応募がなかった。同テーマの研究会の方は、順調に進められている。
  - (2) 文献委員会  
常務理事より、欠席の五百旗頭94年度文献委員長からの、作業が順調に進んでいる旨の伝言が紹介された。
  - (3) 国際交流委員会  
村松委員長より、9月に開催されるアメリカ政治学会(AP S A)の研究会への3名の会員の派遣に関して、十分な資金を得られなかった1名について、国際交流基金から一部援助をしたい旨の要望が出された。また、A・P S Aから日本の研究会への派遣については本年度は資金の関係から困難であること、これに代わって日米共同のプロジェクトを作って交流することが検討されていることが、報告された。さらに、E C P R (European Consortium for Political Research) の来年5月ボルドーで開かれる研究会に、大嶽秀夫・加藤淳子・久米郁男の3会員を派遣する予定である旨が、報告された。
8. 科学研究費補助金「研究成果公開促進費 研究成果公开发表(B)」の件  
表記の件について、常務理事から、募集の通知があったが応募しなかったことが報告され、

了承された。

〔協議事項〕

## 1. 入会者承認の件

以下の11名の入会が承認された。

小島かおる、小林道彦、伊藤之雄、野口和彦、

松田安央、仲井斌、松並潤、松井暁、吉田修、井上拓也、浅野一弘

## 2. 次回理事会の件

次回理事会は、1994年10月1日(土)、関西大学で開催することとした。

## 1994年度 第2回理事会記録

日時 1994年10月1日(土)午後0時～0時50分

場所 関西大学100周年記念会館

1994年度第2回理事会は、以下の事項が報告・協議された。

1. 三谷理事長より、10月1日から2日間にわたり盛大に研究会を開催することができたことについて、開催校である関西大学と企画委員会に対し、また、海外学会から3名の参加者を得られたことについて、国際交流委員会に対し、謝意が述べられた。

また、日本国際政治学会の木戸翁理事長より9月5日付で依頼を受けた、同学会とInternational Studies Associationとの合同の国際会議(1996年9月に千葉県幕張メッセで開催の予定)の後援団体の一つになることについて、理事長名で承諾の返事を出した旨、理事長より報告があり、了承された。

## 2. 寄付金受け入れの件

理事長より、IPSA(世界政治学会)ラウンドテーブル組織委員会より、余剰金の寄付申し入れがあった旨、報告があり、その受け入れが承認された。

## 3. 予備費から支出の件

理事長より、本年度の研究会に招いたアメリカ政治学会(APSA)及びヨーロッパ政治研究機関連合(E CPR)所属の外国人研究者3名の参加資金について、いずれも当該学会からは資金が得られなかったため、旅費・宿泊費の一部として、本学会の予備費からそれぞれ30万円ずつ計90万円を支出することとしたい旨提案があり、了承された。

## 4. 各委員会報告

### (1) 企画委員会

本田企画委員長より、研究会に数多くの参加者を得られたことに関して、関係各位に対し謝意が述べられた。また、分科会Cの討論者を鈴木佑司会員(法政大学)から木村雅昭会員(京都大学)へ、共通論題Bの討論者を岩崎美紀子会員(筑波大学)から今村都南雄会員(中央大学)へそれぞれ変更したい旨、提案があり、承認された。

### (2) 年報委員会

欠席の田中94年度委員長に代わり、西尾95年度委員長より、94年度年報の刊行準備が概ね予定通り進んでいる旨、報告された。また、同委員長より、95年度年報についても、研究会が順調に進んでいる旨、報告された。

### (3) 文献委員会

五百旗頭94年度委員長より、刊行に向けて作業が順調に進んでいる旨、報告された。

### (4) 国際交流委員会

村松委員長より、APSA研究会へ日本から派遣されたが十分な資金を得ることができなかった山口二郎会員について、旅費の半額を国際交流基金から支出することにしたい旨、提案され、承認された。また、8月に行われたIPSAベルリン大会について、IPSA執行委員会のメンバーに佐々木毅理事が当選したことが報告された。

続いて、北岡二国間交流小委員会委員長より、APSA大会に田中愛治(青山学院大学)・山口二郎(北海道大学)・藤原婦一(東京大学)の3会員が出席し、報告を行ったことが報告された。また、APSAから、政治学研究・教育に関する日米間交流促進を図る日

的で、コンピューター・ネットワークAsia Netを作るための資金提供をAPSAとして日米友好基金に要請する予定であり、日本政治学会も積極的に参加する意志を明らかにして欲しい旨の要望があった旨、紹介された。この要望への対応については、次期理事会に検討を委ねることとした。

## 5. 次期理事会への引継事項の件

理事長より、任期満了にあたり、次の2点について次期理事会への引継事項とすることが提案され、了承された。即ち、第一に、現在北米及びヨーロッパとの間で行われている海外の政治学会との交流について、今後他地域へも拡大

することの可能性を探るなど、国際的な交流を一層促進する方向で努力すること、第二に、学会の資金を、学会の目的に照らして一層有効に活用することである。

## 6. 入会者承認の件

以下の22名の入会が承認された。

柳田陽子、伊藤剛、小泉直美、李相薫、小西秀樹、辻康夫、福島良一、ケアデ・オルトルード、千草孝雄、松井完太郎、中谷毅、平石正美、大山礼子、佐藤毅、進邦徹夫、水戸克典、長妻三佐雄、石見豊、三船毅、李好童、高橋肇、ステファニー・A・ウェストン

## 7. 最後に、理事長より、退任の挨拶があった。

## 1994年度 第3回理事会記録

日時 1994年度10月1日(土)午後0時50分から  
1時30分

場所 関西大学

1994年度第3回理事会(新)では、村松理事長の挨拶、自己紹介の後、以下の事項が報告・協議された。

### 1. 前理事会からの引き継ぎ事項の件

理事長より、国際交流の一層の促進を検討すること、日本政治学会に新たに寄付された資金を含む予算を有効活用することの2点について、前理事会から申し送られたとの報告があり、承認された。

### 2. 顧問推薦の件

理事長より、三谷太郎前理事長を顧問に推薦したい旨の提案があり、承認された。

### 3. 常務理事・監事選任の件

理事長より、常務理事としての場敏博(京都大学)会員を、また新監事として飯島昇蔵(早稲田大学)会員を、それぞれ推薦することが提案され、承認された。

### 4. 各委員長選任の件

理事長より、以下の通り各委員長が選任された旨の報告があった。

企画委員会

1995年度 加茂 利男 (大阪市立大学)

1996年度 蒲島 郁夫 (筑波大学)  
年報委員会

1996年度 佐々木 毅 (東京大学)

1997年度 五百旗頭真 (神戸大学)

文献委員会

1995年度 天川 晃 (横浜国立大学)

1996年度 渡辺 浩 (東京大学)

選挙管理委員会

森脇 俊雅 (関西学院大学)

国際交流委員会

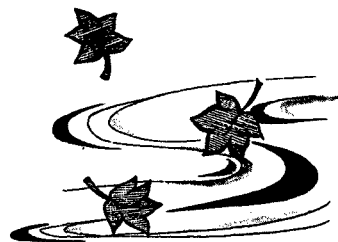
北岡 伸一 (立教大学)

### 5. 国際交流基金運営委員会選任の件

国際交流基金運営規程に基づき、国際交流委員長と常務理事との協議の結果、国際交流委員長と常務理事に加えて、蒲島理事、加茂理事、宮村監事によって運営委員会を構成したい旨、常務理事より諮り、承認された。

### 6. 次回理事会の日程の件

次回理事会を10月2日(日)、関西大学で開催することが承認された。



## 94年度 総会記録

10月1日(土)、理事会に引続き、午後1時30分より、1994年度総会が開催された。議事次第は以下のとおりである。

1. 開会挨拶 土倉理事
2. 開催校挨拶 上林良一関西大学法学部教授
3. 理事長挨拶 三谷理事長
4. 各委員会報告
  - 企画委員会 本田委員長 (1994年度)
  - 年報委員会 田中委員長 (1994年度)  
西尾委員長 (1995年度)
  - 文献委員会 五百旗頭委員長(1994年度)
  - 国際交流委員会 村松委員長
5. 決算・監査報告 渡辺常務理事  
宮村監事
6. 予算報告 渡辺常務理事
7. 事務局報告 渡辺常務理事
8. 次期理事長挨拶および次期役員紹介  
村松次期理事長
9. 役員選任 村松次期理事長  
常務理事としての場敏博会員(京都大学)  
監事として飯島昇蔵会員(早稲田大学)の選任を承認。
10. 閉会挨拶 土倉理事

## 1994年度 第4回理事会記録

日時 1994年10月2日(日)午後0時から1時  
場所 関西大学

1994年度第4回理事会では、以下の事項が報告・協議された。

### 1. 委員会報告

#### (1) 企画委員会(1995年度委員長の加茂理事から)

95年度企画委員メンバーが以下の通り紹介された。また1名の追加を検討している旨の報告があった。

石田徹(龍谷大学)、大西仁(東北大学)、大西裕(大阪市立大学)、河野康子(法政大学)、篠田徹(早稲田大学)、新川敏光(新潟大学)、田辺国昭(東京大学)、寺島俊穂(大阪府立大学)、豊下梢彦(京都大学)、宮本太郎(立命館大学)、森藤一史(大阪外国語大学)

また、分科会の企画について、約半数は公募制にしたいとの提案がなされ、了承された。研究会の報告原稿(ペーパー)の頒布について、費用負担の問題、実効性の問題、収益の所属の問題等について企画委員会のなかにも討論があり結論を得なかったが、3月のプロ

グラム作成の時期までに方針を決定したい旨の報告があった。

#### (2) 年報委員会(1996年度委員長の佐々木理事から)

95年度年報に関して、西尾95年度年報委員長に代わり、中特集1「現代日本の政官関係」については、応募原稿がなかったために研究会が原稿を提出すること、中特集2「20世紀のイデオロギー」については、12件の応募予定者がおり、12月に論文を締め切ることが報告され、了承された。

96年度の年報委員として、以下のメンバーが紹介された。また、五百旗頭次期年報委員長が副委員長として加わることも報告された。

飯尾潤(埼玉大学)、藪野佑三(九州大学)、岡沢憲美(早稲田大学)、若田恭二(関西大学)、新藤宗幸(立教大学)

また、96年度年報の中特集1のテーマを「55年体制の崩壊」とし、そのための科学研究費を申請すること、中特集2のテーマを「民主政論の新展開」とすることが報告され、了承された。あわせて公募に関するアナウンスを、ニューズレターで行うことが報告された。

なお、村松理事長より、94年度年報が順調

- に進んでいる旨の紹介があった。
- (3) 国際交流委員会 (委員長の北岡理事から)  
今研究会で予定されている国際交流研究会のスケジュールを変更したい旨が提案され、了承された。  
また、アメリカ政治学会 (APSA) が提案しているアジア・ネット構想に関して、日本政治学会に著しい負担がない限り対応したい旨の提案がなされ、了承された。  
国際交流委員会を拡大する旨の提案がなされ、了承された。なおその人選については理事長と相談する旨の意見が述べられた。
- (4) 文献委員会 (1995年度委員長の天川理事から)  
1995年度文献委員として、以下のメンバーが紹介された。また比較政治・地域研究・国際政治において若干の追加のあることが報告された。  
石川晃司 (湘南工科大学)、久保文明 (慶応大学)、大山耕輔 (筑波大学)、杉田敦 (法政大学)、川原彰 (杏林大学)、辻隆夫 (早稲田大学)、木村昌人 (東洋英和女学院大学)、平島健司 (東京大学)、楠精一郎 (高崎経済大学)、松田宏一郎 (岐阜大学)  
文献入手が困難な場合に対処するための方法 (抜き刷り送付等) について、種々論議がなされ、方針の決定を文献委員会に委任することとなった。
- (5) 選挙管理委員会 (委員長の森協理事から)  
選挙管理委員として、以下のメンバーが紹介された。  
石田徹 (龍谷大学)、伊藤光利 (立命館大学)、上田惟一 (関西大学)、梅津實 (同志社大学)、加藤秀治郎 (京都産業大学)、橋本信之 (関西学院大学)、三宅一郎 (神戸大学)
2. 1997年度総会・研究会開催校について  
成蹊大学で開催することが決定された。
3. 資金の有効活用について  
理事長より、12月の理事会において理事長から検討方法についての提案をする旨が述べられた。
4. 入会承認の件  
下記の18名の入会が承認された。  
吉川圭一、橋本真澄、神谷直樹、岩崎健久、古川俊一、橋本信子、金龍瑞、長島明子、市川喜崇、神谷章生、清水靖久、服部平治、高橋利安、富崎隆、福岡峻治、鈴木基史、川出良枝、白石克孝
5. 幹事選任の件  
理事長より、新幹事として真淵勝 (大阪市立大学)、秋月謙吾 (京都大学) 両会員を推薦したい旨の提案があり、承認された。
6. 次回理事会の日程の件  
次回理事会を12月3日(土)、東京で開催することが承認された。

## 94年度総会・研究会開催される

1994年度の総会・研究会は、10月1日(土)、2日(日)の両日、関西大学において開催された。当日、受付において手続きを行った出席者は420名(非会員を含む)であり、懇親会の参加者は、アメリカおよびヨーロッパの政治学会からの参加者3名を含めて285名であった。

今回は、第1日目には、本年3月に京都で開かれたIPSA(世界政治学会)ラウンド・テーブルの成果が報告される分科会が設けられたほか、第2日目には開催校である関西大学主催による、「大阪周辺都市の現状と課題」と題する分科会がもたれるなど、新しい試みが行われた。

また、恒例となりつつある海外研究者との国際

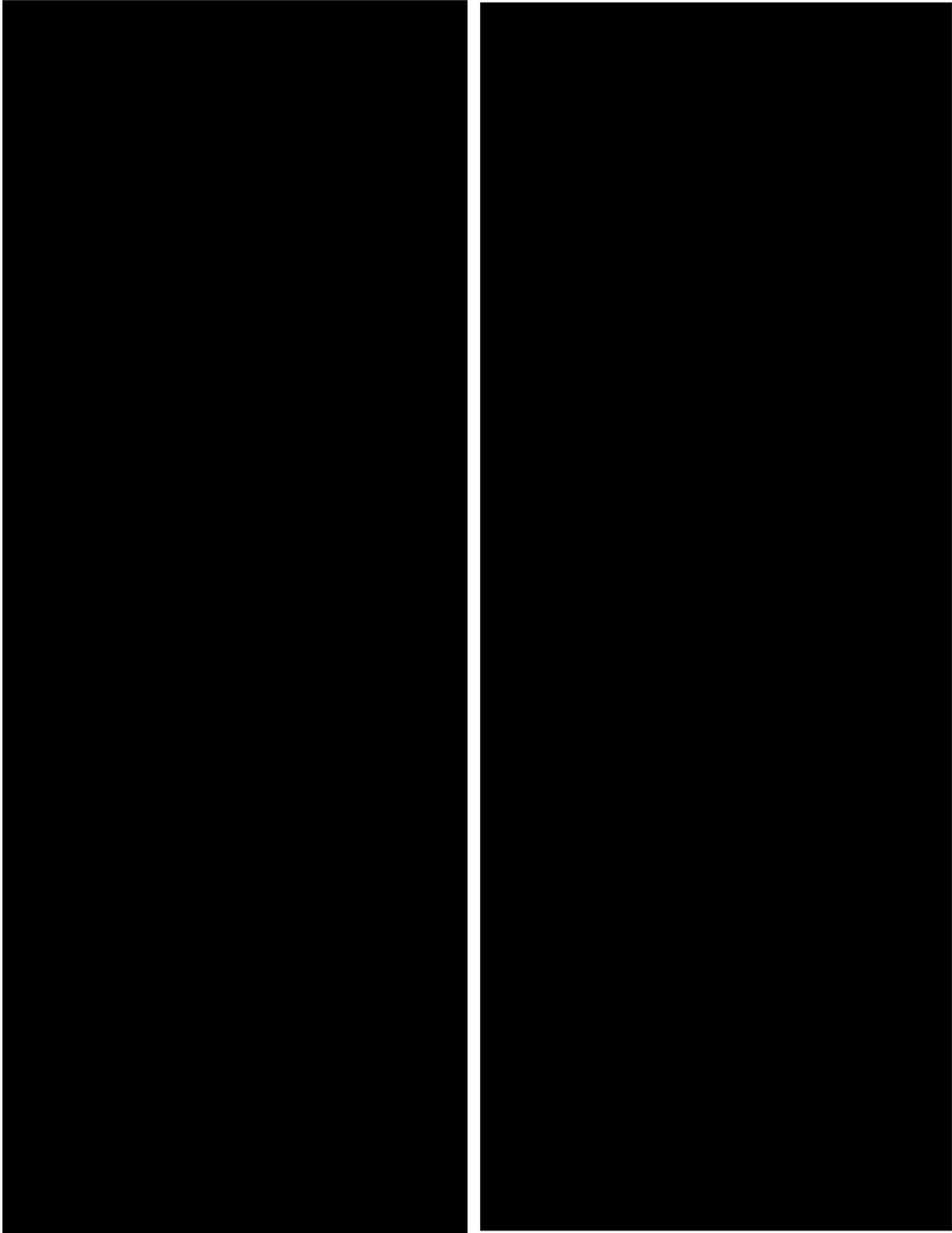
交流研究会は、第1日目に開かれ、今回はSidney Tarrow(コーネル大学)、Sven Steinmo(コロラド大学)、Giorgio Freddi(ポーロニャ大学)の三氏がそれぞれ次のような報告を行った。

Sidney Tarrow, "The Odd Couple: Italian Politics after the Cold War with a Japanese Comparison."

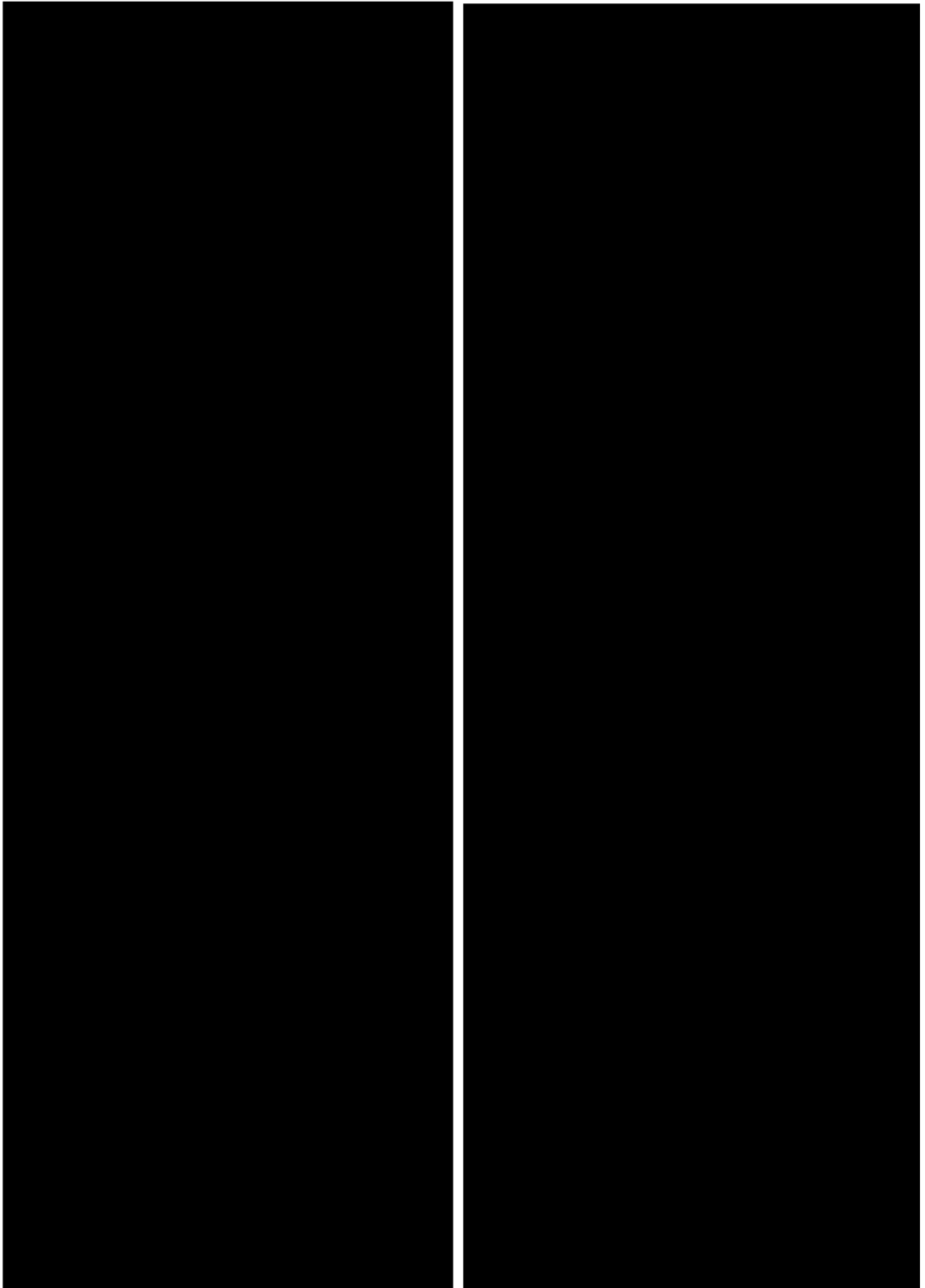
Sven Steinmo, "Why Comprehensive Health Reform Fails in America?"

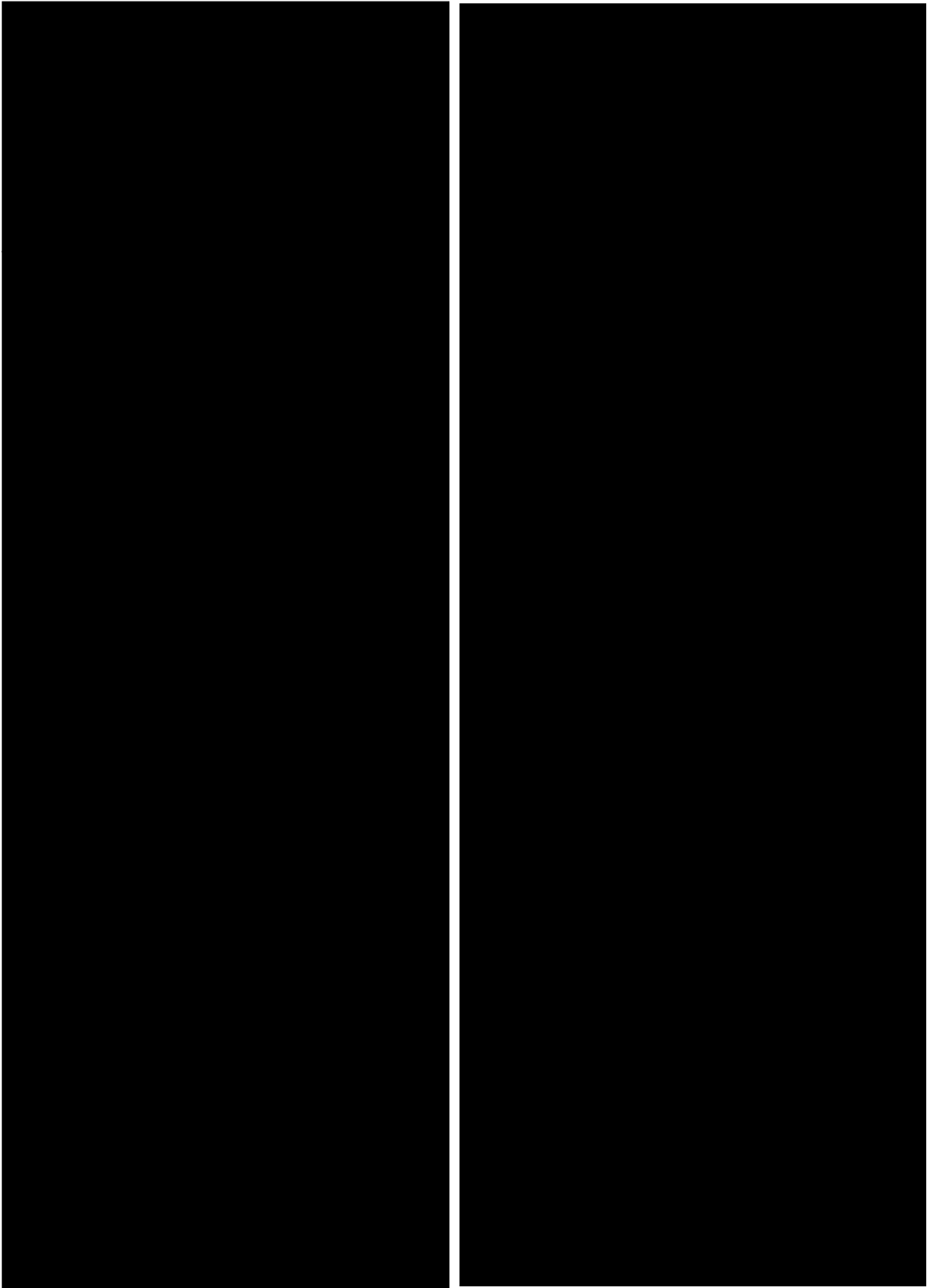
Giorgio Freddi, "Political Change in Italy: Cultural, Political and Institutional Factors."

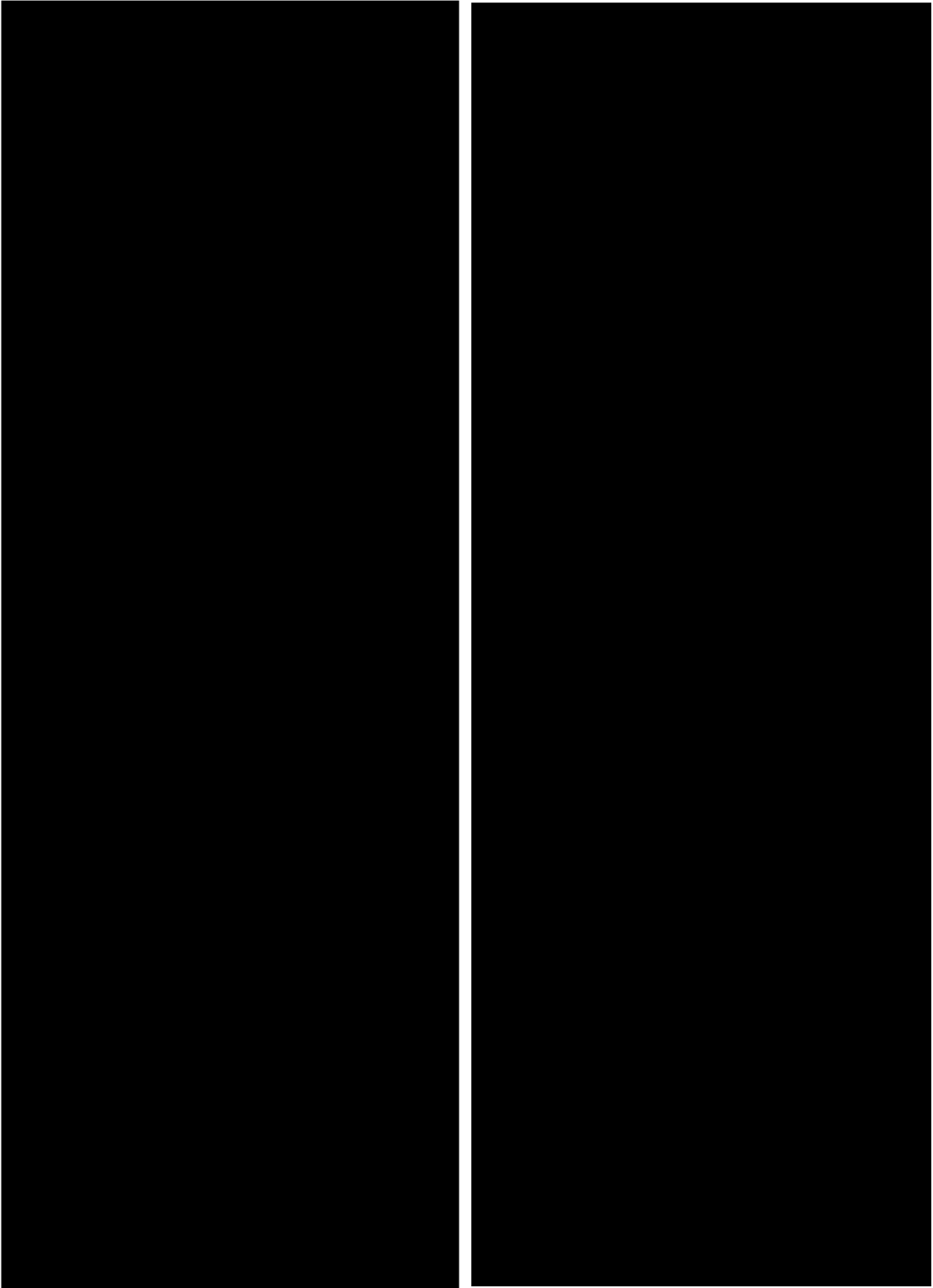
会 員 の 異 動 (1994. 5. 7~1994. 10. 22)

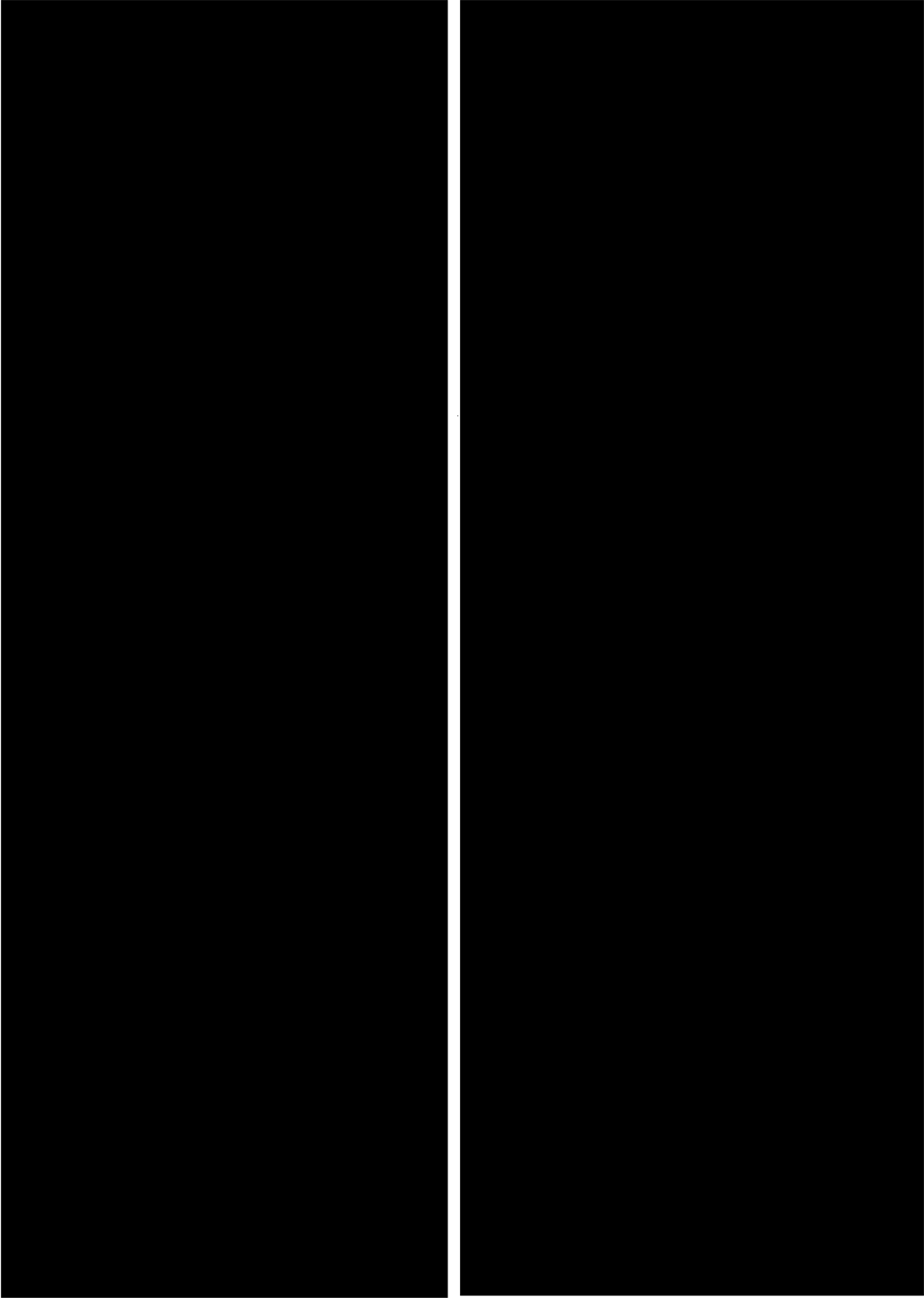












# 学 会 ニ ュ ー ス

## 事 務 局 よ り

### 日本学術会議会員決まる

1994年7月8日付けで、日本学術会議会員推薦  
管理会より、事務局に対して、第16期日本学術会  
議会員として以下の6名を推薦する旨、通知があ  
った。

宇野 重昭 成蹊大学法学部教授  
神谷 不二 東洋英和女学院大学人文学部教授  
(慶應義塾大学名誉教授)  
佐藤 竺 山梨学院大学法学部教授  
(成蹊大学名誉教授)  
堀江 湛 慶應義塾大学法学部教授  
三谷太一郎 東京大学大学院法学政治学研究科長  
・法学部長  
山口 定 立命館大学政策科学部長

### 事務局移転のお知らせ

1994年10月29日より、日本政治学会の事務局が  
東京大学より京都大学へ移転しました。新事務局  
の連絡先は以下の通りです。お間違いのないよう  
にご注意下さい。

住所 〒606-01 京都市左京区吉田本町  
京都大学法学部 的場研究室  
電話 (075) 753-3262  
FAX (075) 753-3290

旧事務局に対する皆様からの2年間の御厚意に  
対して心よりのお礼を申し上げますと共に、新事務  
局に対する同様の御支援をお願い致します。

### IPSA(世界政治学会)事務局 移転のお知らせ

IPSAの事務局が、オスロから、下記の住所  
に移転しました。

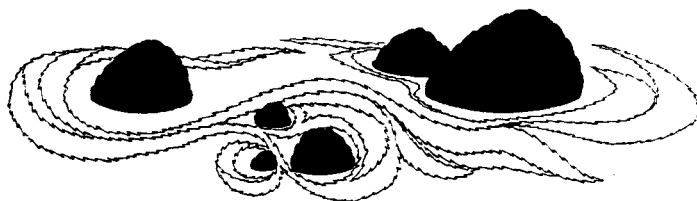
IPSA Secretariat  
Department of Politics  
University College Dublin  
Belfield  
Dublin 4  
IRELAND

### 郵便振替口座の口座番号変更について

郵便振替口座の口座番号が、郵政省の新処理シ  
ステム導入に伴い、本年5月から変更になりました。  
1995年12月までは新旧両番号の併用期間です  
が、本学会では、事務局の移転に伴って、新しい  
振替口座番号に切替えることに致しました。

旧番号は「東京0-84250」でしたが、新番号は  
「00100-8-84250」です。払込書(振替用紙)も、  
新しい振替用紙に変わります。今回年会費未納の方  
にお送りする振替用紙から、新しい用紙になって  
います。

なお、お手許に古い振替用紙しかお持ちでない  
方は、1995年いっぱいまで、それをお使い頂くこ  
とができます。新しい振替用紙を御希望の方は、  
新事務局まで御請求下さい。

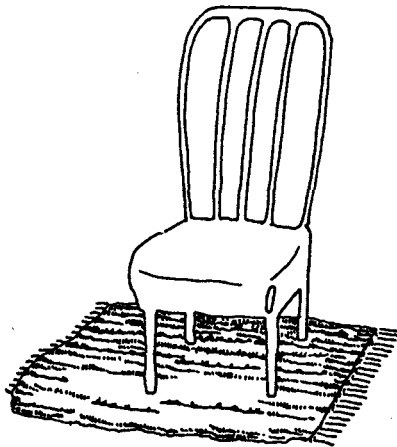


## 会費納入についてのお願い

会費未納の会員には、振込用紙を同封しております。未納額は、振込用紙に記入された通りです。同用紙にて会費をお支払い下さいますようお願いいたします。2年度分以上会費を滞納されますと、1995年3月末日をもって、会員資格を失うこととなります。

なお、92年度より年報の会員配布制度が始まりました。93年度会費が未納の会員に対しては、93年度会費納入を確認した時点で、事務局から93年度年報政治学(『EC統合とヨーロッパ政治』)をお送りしています。また、94年度年報政治学(『ナショナリズムの現在・戦後日本の政治』)は、94年12月半ばに94年度会費の納入が確認された会員に対してのみ、12月下旬に岩波書店から送付される予定です。それ以降に会費を納入された方には、会費の納入が確認された時点で、事務局より年報を発送します。

未納額について御不審の点がございましたら、事務局までお問合せ下さい。また、会費を納入したにもかかわらず当該年度の年報が届いていない方がおありでしたら、事務局までお知らせ下さい。



## 訃 報

下記の会員が御逝去になりました。謹んで哀悼の意を表します。

### 高橋誠氏 (中央大学教授)

1993年12月26日 1936年生 フランス社会思想史・フランス革命専攻。

### 藤原保信氏 (早稲田大学教授)

1994年6月5日 1935年生 政治思想史専攻。  
役職：常務理事 1988-90年 理事 1990-94年。

### 木村剛輔氏 (矢部教授記念政治学研究所所長)

1994年8月16日 1917年生 元自民党衆院議員。

本号の目次	ページ
1. 村松岐夫新理事長挨拶 .....	1
2. 年報論文公募について .....	2
3. 95年度研究会企画への提案について ...	2
4. 理事会記録・総会記録等 .....	3
5. 会員の異動 .....	8
6. 事務局より .....	13

1994年12月9日

発行 日本政治学会事務局

的 場 敏 博

〒606-01 京都市左京区吉田本町

京都大学法学部 的場研究室

TEL (075) 753-3262

FAX (075) 753-3290

郵便振替番号 00100-8-84250

加入者名 日本政治学会

印刷 株式会社善光堂印刷所